

# 全 仙

ZENBUTSU

JAPAN  
BUDDHIST  
FEDERATION

No.643

## 特集「仏陀の教えとSDGs」





## 特集「仏陀の教えとSDGs」

エスディーゼーズ

SDGsとは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年に国連において加盟する193の国と地域によって全会一致で採択された国際開発目標です。2030年までに世界が目指すべき17の目標、169個のターゲットを定め、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」として採択されました。

本会は、2018年に開催したWFB世界仏教徒会議日本大会において、「2018年 東京宣言」を発表し、本文中に『私たちは国連の持続可能な開発目標(SDGs)の実現を支援します』と宣言しました。現在、世界各地で起こる自然災害での被災によって困難な生活を送る方々、また経済的な困窮により苦しむ方々、差別を受け悲しみの中にいる方々など、様々な問題に対し取り組む仏教者を支援し、宣言の具体化を進めています。

昨今の仏教界では、仏陀の教えとSDGsは非常に親和性が高いという認識から、教団レベルで様々な課題に取り組むところが増えていきます。

本号では、政府の立場から外務省 国際協力局 地球規模課題総括課の保科隆之氏と仏教者の立場からSDGsおてらネットワーク代表の松嶋亜紀子師に、仏陀の教えを軸にSDGsの理念や活動、また仏教者として何を考え行動するかについてお話を伺いました。

全仏 643 号

## CONTENTS

特集 ..... 3

### 「仏陀の教えとSDGs」

対談 ..... 4

松嶋 亜紀子 / SDGsおてらネットワーク代表 浄土真宗本願寺派僧侶  
保科 隆之 / 外務省 国際協力局 地球規模課題総括課 外交実務研修員  
コーディネーター 戸松 義晴 / 本会事務総長

本会からの報告 ..... 8

- ・朝鮮半島出身の旧民間徴用者等の遺骨奉還に関する会議出席
- ・「首相及び閣僚の靖国神社公式参拝に関する見解並びに要請」文書提出
- ・各種審議会・委員会に女性委員が参画
- ・情報共有会開催
- ・「救援基金」寄附者一覧 / 「賛助会員」新規入会者一覧
- ・無料法律相談室 / 税金なんでも相談
- ・「救援基金」へご寄附のお願い

### コラム

第3回 お寺の英語教室「思想編」 ..... 12

大來 尚順 / 浄土真宗本願寺派 超勝寺

### 法話 ぶっぼうそう

『寒暑到来、如何が回避せん!』 ..... 14

安達 瑞樹 / 曹洞宗 長楽寺

### 宗教法人運営のための法律入門

宗教法人の管理運営 7 ..... 15

題字 ..... 16

「全仏」 全日本仏教会 江川 辰三 第33期会長(曹洞宗管長 / 大本山總持寺貫首)

表紙絵 「二十四節氣 和色盈氣」 ..... 17



深まる秋から年末まで、手漉き和紙を使い描き表わしました。鶉、烏瓜、銀杏、仏手柑、鶯鶯、水仙など季節の風物と来年の干支のねずみ。動から静への移ろいの和みに眼福いただきたいと思います。

平みきお



描手 屋号「画房たいら」。  
東京都出身、作家、イラストレーター。  
Web : <https://mikiotaira.jimdo.com>

### \*年間テーマ「二十四節氣遊び」

四季の対象月節氣をそれぞれ描き、1年通じて二十四節氣を表わします。年間通じて季の様々な自然、風物など万物のうごきと調和をたのしく感じて頂けると幸いです。

# 仏陀の教えとSDGs

まつしま あきこ  
松嶋亜紀子

SDGs おてらネットワーク代表。浄土真宗本願寺派僧侶。仏教各宗派を超えてSDGsの理念を推進し、仏教の知見を通してすべての人々が心豊かに生きてゆける社会の実現に貢献することを目的とした団体。研修会やワークショップなどを通じて、SDGsの周知に取り組む。



ほしな たかゆき  
保科隆之

外務省国際協力局 地球規模課題総括課 外交実務研修員。2013年北海道庁入庁。2018年外務省出向し現職。SDGsアウトリーチ班として、SDGsの達成に向けた国内外における関連施策を推進するとともに、SDGsの認知度を向上させるため、国内外のSDGsに関する話題を日々発信している。



とまつ よしはる  
コーディネーター 戸松 義晴 本会事務総長

## ジェンダーの平等を目指して

**戸松** SDGs おてらネットワークの代表である松嶋さんは、僧侶であり坊守でもあります。なぜSDGsに取り組みようと思ったのか、その経緯を教えてください。

**松嶋** 初めてSDGsに興味を持ったのは、友人の僧侶がブログでSDGsの取り組みについて、仏教界がやっていくべきことだと発信していたからです。その後、築地本願寺で宗派主催のSDGsのシンポジウムに参加した際、おてらおやつクラブ代表の松島靖朗さんと浄土真宗本願寺派の積徹宗さんがパネラーとして登壇され、仏教的な視点からSDGsを捉えたお話をされました。そのときに、松島さんがSDGsを仏教の熟語で表すと「自利利他円満」であると言われました。私の利益と他者の利益、すべてが円満してこそ本当の救いであるという大切な教えであり、それを聞いた時に仏教とSDGsの親和性に気が付きました。

それから、SDGsの5番「ジェンダー平等を実現」という課題に私が直接関わっているのもきっかけです。私は九州の鹿児島に住んでいて、今でも土

地柄、女性が一步引くことが奥ゆかしいといった風潮が色濃く残っています。鹿児島教区で少年連盟の役員を務めていた際、前任の委員長から「これからは女性が、組織のリーダーになってほしい」と言われ、推薦を受けていました。

その後、「あの人は、お寺の奥さんだから委員長には相応しくない」という意見が出てきた事をきっかけに、その話は流れてしまいました。そのような経験が何度もあり、私は女性である前に、一人の人間であって、自分が頑張ろうと思ったことも、坊守の立場であるが故に出来ないという事実に対して納得できずにいました。そのときにSDGsとリわけジェンダー平等については自分がやるべきことと思え立ち、今では覚悟を持って活動しています。

**戸松** 仏教界では、平等の教えを説いていながらも、今までの慣習、価値観に縛られている現場は多くあります。日本では、未だに女性は男性を支えることを良しとした風潮が残っています。が、国の政策や法律には、男女平等社会の実現を進めることを公言していますので、具体的な達成目標を設定し行動を取ることが重要だと思えます。

## 日本におけるSDGsの特徴

**戸松** 日本のSDGsへの取り組み、考え方について教えてください。

**保科** SDGsは2015年の国連総会で採択され、17の目標と169個のターゲットから構成されています。SDGsの前身にはMDGs(ミレニアム開発目標)があり、2000年に採択され、2015年までに達成すべき八つの目標を掲げ、世界各国が取り組んできました。例えば目標1「極度の貧困と飢餓の撲滅」であれば、世界の貧困率を半減させるというターゲットは数字上、達成できました。その背景にはMDGsが採択されたことによる、全体の比率が下げられたといったことがあります。しかしながら、依然として世界には、未だ貧困に苦しむ地域もあります。さらに2000年頃は、BRICS<sup>※1</sup>といった高い経済成長率で推移する国が現れるなど、国同士の格差の拡大も見られました。そういった問題について、網羅的に解決することを目指して設定されたのが「SDGs 持続可能な開発目標」です。

またSDGsの大きな特徴として、

「トランスフォーム」という言葉を使っていることが挙げられます。この背景には、様々な地球規模の課題が深刻化する中で、これまでの私たちの暮らし、生き方を続けていけば地球がもたないといった危機感があります。次の世代に住み続けられる地球を残していくためには、これまでの生活や仕組みを「変革する」必要があり、その思いを込めて十七個の目標が設定されています。

日本では、SDGsが採択されて以降、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて積極的に取り組みを進めています。日本がSDGsに取り組むにあたり、日本が従来議論をリードしてきた「人間の安全保障」<sup>※2</sup>の考え方が、SDGsの「誰一人取り残さない」という考え方とつながっていることが原動力となつています。人間一人ひとりの生存や尊厳にフォーカスした「人間の安全保障」という考え方があって、日本ではSDGsの理念が素直に受け入れられています。

※1 ブラジル(Brazil)、ロシア(Russia)、インド(India)、中国(China)の頭文字を合わせた造語。2000年代以降に経済成長が著しい新興国として世界から注目された。

※2 人間一人ひとりに着目し、生存生活尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、それらの持つ豊かな可能性を実現するために、保護と能力強化を通じて持続可能な個人の自立と社会づくりを促す考え。外務省WEBサイトから引用。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナースHIPで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

先ほど保科さんがSDGsの特徴を「変革」と表していました。こういった課題を解決するためには一番分かりやすい言葉だと思っています。

※3住職の配偶者。主に浄土真宗で使われる。

**日本の伝統的な価値観**

**保科** 日本のビジネス界とSDGsはとても相性が良いとされています。日本で長寿企業が多いのは、伝統的な価値観である近江商人の「世間良し」「買い手良し」「売り手良し」の「三方良し」の精神を含めてしっかりと経営してきたからです。そういった企業は今まで環境への配慮や地域社会に根差した活動をされてきました。SDGsでも経済・社会・環境の三側面においてバランスのとれた経営が求められています。そうした意味で日本の伝統的な考え方やSDGsは親和性が高いといえます。

**戸松** 自分ばかりが良ければいいではなく、それが受け手の買ってくださいお客様・社会にも良いということは、先ほど松嶋さんのお話にあった仏教の「自利他円満」の意味に繋がりますね。



**寺院を通じて次世代への広報**

**戸松** SDGsへの取り組みについて、仏教界に期待するところがあれば教えてください。

**保科** お寺は、檀家や信徒の方たちを通じて、幅広い世代の方々とのコミュニケーションが取れる点が強みと感じています。特に高齢の方々は私たちの広報が届きにくい部分でもあります。

**松嶋** 高齢の方にいかに積極的にSDGs

Gsを伝えていくのは、お寺が担う部分だと強く感じます。例えば説明の冒頭でいきなりSDGsという言葉から入っても中々理解していただきにくいのですが、「仏さまの慈悲の心の実践」というような切り口でアプローチしていくと、素直に受け入れてくださいます。特に、お寺によく足を運ばれる方たちは、仏法を大切にされる方が多いので、「仏様が私たち衆生を誰一人取り残さず救いたいと思われる心とSDGsの理念はとても親和性が高いのです」とお伝えするとよく理解していただけます。そのことを伝えた上で「それでは、私たちのお寺で何をするか」という話に繋がりますので、お寺の役割をしっかりと果たしていきたいと思っています。

**保科** 仏教の思想を軸にアプローチして、SDGsの広報をしてくださるのには、大変有り難いので、ぜひ今後も続けていただきたいです。

例えば、高齢の方たちの昔ながらの知恵は持続可能な生活のためのヒントになるのではないのでしょうか。そして、そういったものを継承していく機能をお寺には期待しています。また、高齢の方たちにも、SDGsは自分に関係のない話ではなく、子供や孫の世代に住み



セミナーでSDGsのカードゲームを体験

続けられる環境を残していくものだと理解してもらえれば、日々の生活を変えていただけたと思います。子供と高齢者、二つの層にアクセスできるのは、仏教界にとつての強みだと思います。

**SDGsの体験型ゲーム**

**戸松** 実際に仏教者や檀家、信徒、または地域の方々にSDGsを周知させていくためには具体的にどのような取り組みがあるか教えてください。

**松嶋** SDGsの考え方を周知させて

いくには、実際に体験していく方法が有効だと考えています。SDGsの世界観を体験できるものに、一般社団法人イマココラボで開発された「2030SDGs」というカードゲームがあります。SDGsおてらネットワークが主催したセミナーでも使用し大変好評だったのですが、最小で5人からプレイできるので、お寺等で体験してもらうことによって、SDGsの言葉を聞いたことがない人や今まで興味がなかった人も世界観を感じていただけたと思います。



**保科** SDGsの世界観を体験するという意味で、ゲームで楽しく学ぶことはとても重要だと思います。私たちはワークショップを開催することはできないので、そういった学びの場を民間企業や仏教界で提供していただきたいです。

**SDGsは宗教を超えた共通言語**

となった教えがすなわち仏教であり、これはSDGsの十七のアジェンダが相関しあっているという考え方や共通しています。それと、元来お寺は地域のハブであったと思います。今もやはり象徴的なのが、オウム真理教の信者が「どうして伝統仏教に入らなかつたのですか」と聞かれたときに「お寺は私にとつて風景でしかなかった」という有名な言葉があります。ただ、そこにあるだけで仏教が生きておらず、建物だけの存在になつてしまっている事実がとても寂しいと感じています。ですので、お寺には檀信徒のみではなく、色々な方が集まることができると考えています。

えています。結果、それがSDGsの活動に繋がることだと思っています。

**保科** SDGsという共通言語を前にすれば、分け隔てなく誰とでも話せると思います。2030年に向けて、より良い世界を目指すため、地球にいる誰もが取り組めるのがSDGsです。企業、NPO、NGOの活動も大切ですが、一個人の日々の小さな実践が積み重なるだけでも世界は少しずつ変わっていくと思います。

**戸松** 日本人は、「宗教」と聞くとアレルギーを持たれる方もいらっしゃると思います。しかし、仏教とSDGsには通じるものがあるとお伝えすれば、宗教への苦手意識が薄れていくかもしれません。

**保科** 例えば、おてらおやつクラブの活動も、お寺の慈善活動、社会貢献として伝えると、仏教者の中での限られた広がりとなりますが、それをSDGsの目標である「フードロス」や「貧困対策」と伝えると様々な団体と問題意識の共有ができると思います。ビジネス界、地域社会、お寺、または個人と、皆が同じ目標に向かって取り組むことが

出来るのがSDGsです。私たちも日々、広報活動をする中で、SDGsを通じたパートナーシップは重要だと考えています。

またSDGsの達成に向けてはステークホルダーそれぞれに役割があります。国であれば全体像を示して進捗管理を行い、普及・啓発することであり、企業であればビジネスを通じたSDGsを達成すること、お寺であれば仏教の思想を通じて、SDGsの取り組みを周知していくことなど、皆がそれぞれ2030年に向けてできることを、まずは無理なく続けていくのが重要だと考えています。



朝鮮半島出身の  
旧民間徴用者等の  
遺骨奉還に関する会議出席

令和元年六月十一日・十二日札幌市内の曹洞宗中央寺を会場に「第二十九回日韓・韓日仏教文化交流中央大会」が開催された。標記の会議は、十二日午後三時から午後四時四十分まで行われた。会議には、韓日仏教文化交流協議会から弘法理事長(観音宗総務院長)、徳昭常任理事(曹溪宗社会部長)他五名、日韓仏教文化交流協議会から藤田隆乘会長、西郊良光理事長他五名、本会から釜田隆文理事長、戸松義晴事務総長他事務総局員四名が出席した。



本会は、日本政府から十四年前に標記のご遺骨の調査協力を求められ、調査がほぼ終了した。しかし、両国政府間

で遺骨の奉還を巡る困難な現下の状況となっている。そこで、日韓仏教文化交流協議会の西郊理事長が仏教者同士の理解のもと、ご遺骨奉還を早期に進めるため、両国の仏教界の代表者による協議会設置を提案した。韓国側からは、ご遺骨の奉還の思いに共感し、協議会設置に賛同する声がある。また、本件を持ち帰り、韓国内の関係団体と相談し、協議することとなった。

「首相及び閣僚の靖国神社  
公式参拝に関する見解並びに  
要請」文書提出

令和元年七月三十日に安倍晋三内閣総理大臣宛に「首相及び閣僚の靖国神社公式参拝に関する見解並びに要請」文書を、自由民主党本部において戸松義晴(本会事務総長)から山口泰明氏(自由民主党組織運動本部長)へ手交した。



左：戸松義晴(本会事務総長) 右：山口泰明氏(自由民主党組織運動本部長)

首相及び閣僚の靖国神社公式参拝に関する見解並びに要請

私たち仏教徒は、釈尊の御教えである「いのちの尊重」「慈悲の精神」に反し、かつて戦争にかかわったことへの反省の上に立ち、争いのない世界をめざして様々な活動を行っております。

本年も「戦没者を追悼し平和を祈念する日」が近づいてまいりました。本会の加盟団体に所属する全国七万余の寺院でも、太平洋戦争を始めとするすべての戦没者の方々に、丁寧に追悼法要を行ってまいります。

毎年、千鳥ヶ淵戦没者墓苑において追悼法要並びに平和祈願の法要を多くの権信徒とともに、本会は、一九八一(昭和五十六)年以来、首相及び閣僚の「靖国神社公式参拝」に対して一貫して反対の意思を表明してまいりました。

靖国神社が、過去において、国家神道の象徴的な神社としての地位を占えられ、先の大戦まで戦争遂行の精神的支柱の役割を果たしたことは歴史的事実であります。

終戦後、日本は日本国憲法を制定し、平和をめざして歩んできました。しかし、現在の靖国神社に、首相及び閣僚が公式参拝することは、憲法に定める「宗教の自由」「政教分離」の原則に抵触するばかりでなく、靖国神社が今もなお国家の中心的な戦没者追悼施設であるかのような誤解を招くことになりかねません。なぜならば、靖国神社は、特定の基準をもって合祀の対象とした戦没者を祀る神社であり、一宗教法人施設であることは明白であるからです。

戦没者の追悼は、本来各ご遺族がそれそれの仰ぐ宗教によってなされるべきものであります。これを国家の名において行うのであれば、それは戦争によってかけがえのない生命を失われた全ての方々に、深い悔悟と、平和に対する願いをこめて丁寧に重なるべきであり、その儀礼のあり方もご遺族の方々の信教の自由を侵さぬよう配慮されなければなりません。

安倍内閣におかれましては、「信教の自由」と「政教分離」の原則に基づいて、国民誰もが安らかな心で戦没者を追悼することができましよう、賢明なご判断とより一層慎重な行動をとられますよう、重ねてお願い申し上げます。

二〇一九(令和元年)年七月三十日  
公益財団法人 全日本仏教会  
理事長 釜田 隆文

内閣総理大臣 安倍晋三 殿

各種審議会・委員会に  
女性委員が参画

本会は仏教界における様々な課題を検討するため、各種審議会・委員会を設置しています。第三十三期は女性委員に参画いただき、幅広い視点から意見を集約しています。

【総務財政審議会】

- 高橋 直人(曹洞宗)
- 東森 尚人(浄土真宗本願寺派)
- 下野 真人(真宗大谷派)
- 谷上 昌賢(浄土宗)
- 木村 吉孝(日蓮宗)
- 岡部 観栄(高野山真言宗)
- 上沼 雅龍(臨済宗妙心寺派)
- 寺本 亮洞(天台宗)
- 久保田 剛士(真言宗智山派)
- 岩脇 彰信(真言宗豊山派)
- \*本多 端子(公益社団法人 全日本仏教婦人連盟)
- 井上 拓郎(学識経験者)
- 佐藤 泰之(学識経験者)

【社会・人権審議会】

- 我孫子 高宏(曹洞宗)
- 宇野 哲哉(浄土真宗本願寺派)
- 荷葉 一浩(真宗大谷派)
- 幸島 正導(浄土宗)
- 三原 正資(日蓮宗)
- 佐々木 基文(高野山真言宗)
- 森 昌寛(臨済宗妙心寺派)

【国際交流審議会】

- 古澤 理哉(曹洞宗)
- 石田 真住(浄土真宗本願寺派)
- 錦 秀見(真宗大谷派)
- 杉山 俊明(浄土宗)
- 佐々木 康文(日蓮宗)
- 丹羽 義寛(高野山真言宗)
- 松山 大耕(臨済宗妙心寺派)
- 奥山 元照(天台宗)
- 小鷹 正人(真言宗智山派)
- 渡会 瑞顕(真言宗豊山派)
- 久野 晃秀(法華宗(本門流))
- 大來 尚順(公益財団法人 仏教伝道協会)
- \*日比野 郁皓(学識経験者)
- 村山 博雅(学識経験者)
- \*川橋 範子(学識経験者)
- \*枝木 美香(学識経験者)

【宗教教育推進委員会】

- 小林 千秋(曹洞宗)
- 白川 了信(浄土真宗本願寺派)
- 木全 和博(真宗大谷派)
- 新谷 仁海(浄土宗)
- 松永 慈弘(日蓮宗)
- 橋本 真人(高野山真言宗)
- 細川 晋輔(臨済宗妙心寺派)

【広報委員会】

- 森田 源真(天台宗)
- 高麗 行真(真言宗智山派)
- 高橋 英峰(真言宗豊山派)
- 菅原 伸郎(公益社団法人 在家仏教協会)
- 武藤 道郎(学識経験者)
- 岩倉 宏(学識経験者)
- \*山口 弘江(学識経験者)
- \*岡田 愛(学識経験者)
- 山本 雅彦(曹洞宗)
- 寺住 太祐(浄土真宗本願寺派)
- 梯 宗(真宗大谷派)
- 中島 行雄(浄土宗)
- 小泉 顕應(日蓮宗)
- 山口 文章(高野山真言宗)
- 坂本 康典(臨済宗妙心寺派)
- 高見 昌良(天台宗)
- 杉本 栄次(真言宗智山派)
- 北島 遼昂(真言宗豊山派)
- 松本 現薫(本門佛立宗)
- 新倉 典生(東京都仏教連合会)
- \*沼田 千恵(公益財団法人 仏教伝道協会)
- \*吉田 明乎(学識経験者)
- \*松崎 香織(学識経験者)
- \*長野 留三子(学識経験者)

【WFB(世界仏教徒連盟) 日本センター運営委員会】

- 小林 正道(WFB副会長)
- \*日比野 郁皓(WFB人道支援委員会委員長)
- 東海林 良昌(WFB副事務総長)
- 村山 博雅(学識経験者)
- 王 仁興(学識経験者)

\*松崎 香織(学識経験者)  
【支援検討会議】

- 新倉 典生(学識経験者)
  - 岩田 智充(学識経験者)
  - \*末廣 久美(学識経験者)
  - 青木 晴美(学識経験者)
  - 茅野 俊幸(学識経験者)
  - 藤森 雄介(学識経験者)
  - 倉島 隆行(学識経験者)
  - 長谷川 正浩(学識経験者)
- 女性委員は\*の印で示しています



情報共有会開催

令和元年九月二日、西本願寺聞法会館にて、本会主催で情報共有会を開催し、加盟団体はじめ賛助会員から多くの聴講者が参加した。定刻で開会となり、戸松義晴事務総長が挨拶を行った。

第一部では、(株)ミライロ代表取締役社長の垣内俊哉氏が「寺院のユニバーサルデザインの取り組みについて」約八十分の講演を行った。



(株)ミライロ代表取締役社長 垣内俊哉氏

はじめに垣内氏は自身の半生で得た学びを紹介した。遺伝による障がいを持って生まれ、車いすや寝たきりの生活を過ごす中で、数度にわたり自殺を図ったという。十八歳の時に医師から四十五歳で再び寝たきりになると宣告され、それが大きな転機となった。自分に残された時間が九五〇〇日しかないことが分かり、限られた時間の中でできることをしていこうと決めた。「人生の長さは変えられない。でも人生の幅は変えられる」と。車いす姿の垣内氏を唯一受け入れてくれたWEBデザイナーの会社に就職し、そこでは営業を任せられたという。同僚よりも会社を回る数は少なかったが、車いす姿の自分は誰よりも覚えられるのが早く、数か月後には営業トップの成績を収めることができた。障がいがあることに誇りを持って「言われ、障がいがあるからこそできることもあるのだ」と気づき、二十歳の時に起業したという。「障がいは無い方がいいが、障がいにも価値がある」。障がいを価値に変える「バリアフリー」を企業理念とする株式会社ミライロは今年で十年目を迎えた。

続けて、障がい者や高齢者を囲む環境について述べた。環境や法制度が大きく変わって彼らが外出することで、大きな経済効果が生まれる点を特に指摘した。今後、二〇二五年に向けて日本は加速度的に変わっていくことを予測し、今のうちに多様な方々と向き合う準備を進めていくべきであること、大きな社会貢献はビジネスチャンスであることを強調した。そしてそのためには、社会に存在する三つのバリア(環境、意識、情報)を解消していくことが必要だと述べた。

最後に、寺院の向き合いかたについて述べ、文化財や景観の観点から、ハード面を変えることは簡単ではないという寺院側の状況に理解を示しつつ、垣内氏は、ハード面を変えなくても、意識と情報のバリアを解消することでカバーできることを示唆した。そして、多様な方々が不安や不自由を感じることなく過ごせる社会にしていこうためには、社会性と経済性の両立こそが重要であると述べた。

第二部では、大和証券(株)営業サポート部副部長の佐藤泰之氏が「仏教に関する実態把握調査(二〇一九年度)について」約四十五分にわたり講演した。

佐藤氏はまず、第二回仏教に関する実態把握調査の経緯を述べた。これまで各宗派の研究機関で過疎に対する調査は行われているが、実際には過疎地域寺院と檀家を対象とした調査が中心であり、転出した方への調査ができていなかった。過疎化が与える影響は現在も進行中であり、今後より大きな問題になるという視座から、今回は過疎問題を転出した人の意識を中心とした調査を行ったことを明かした。



大和証券(株)営業サポート部副部長 佐藤泰之氏

また、過疎地域の菩提寺は特に情報発信などして檀家をサポートしていくことが大事であり、過疎の対応として、各寺院への情報提供のサポートというのは必須であること。同様に寄付の依頼に関しても、どの地域でも菩提寺との距離がある檀家、および後継者に対しきちんと布施の意義を伝えて寄付依頼をすることが大事だと述べた。

最後に、戸松事務総長が本会の事業について報告、閉会の辞を述べ閉会した。

「救援基金」寄附者一覧

二〇一九令和元年六月一日～  
二〇一九令和元年八月三十一日  
(時系列順・敬称略)

- 〈指定なし〉
- 松本佛教和合会
- 小千谷市仏教会
- 齊藤清美
- 芝学園同窓会

総計 一五〇四三三円

ご支援、誠にありがとうございました。

「賛助会員」新規入会者一覧

二〇一九令和元年六月一日～  
二〇一九令和元年八月三十一日  
(時系列順・敬称略)

- 〈特別会員〉
- 築地本願寺

ご入会、誠にありがとうございました。

賛助会員募集

本会では賛助会員を募集しております。全国のご寺院をはじめ、企業や団体、個人としてご入会いただけます。入会等の詳細は本会ウェブサイトをご覧ください。  
[http://www.jbf.ne.jp/about/index/about\\_member.html](http://www.jbf.ne.jp/about/index/about_member.html)



寺院向け お電話1本でカンタン申込み。相談無料。

税金なんでも相談

電話 or 対面 どちらでも相談できます



寺院運営をする上で起こる様々な税金の悩みに、エキスパートたちが1ストップでお応えいたします!

お問い合わせは本会まで<03-3437-9275>

寺院向け お電話1本でカンタン申込み。相談無料。

無料法律相談室

主に第二・第四木曜日 要事前予約



本会顧問弁護士が、寺院向け無料相談を開催しております。

「救援基金」へご寄附のお願い ～支えあう心 あなたの支えが救援の力となります～

本会では、全一仏教運動と世界平和の進展に寄与するため、災害救援並びに人道的支援等の活動を行う「救援基金」へのご寄附を常時受付しています。この活動には、皆様の温かなご支援が今こそ必要です。加盟団体をはじめ個人や寺院、仏教会、企業等の多くの皆様が各地より救援の大輪を広げ、ともに支えあう心のもと、「救援基金」にご送金を載っています。

お寄せ戴きました救援基金は、東日本大震災や熊本地震などの被災状況に鑑み、加盟団体関係機関などへ寄託し、現地の救援活動を支援しています。

本会の救援基金の趣旨にご理解戴き、ご支援を謹んでお願い申し上げます。

【郵便振替口座】  
口座番号 00110-9-704834  
口座名義人 全日本仏教会救援基金

・本会「救援基金」への寄附は東京都の条例指定対象寄附金です。寄附を行った個人・法人の方は、所轄の税務署へ本会発行の領収証を添付して申告することにより、所得税の寄附金控除の適用が受けられます。



お問い合わせ先 全日本仏教会 財務部 tel 03-3437-9275



### 第3回

# お寺の英語教室

## 思想編



お寺で役立つ英語に特化した英語教室の第3回は、思想編です。

今回は、外国人観光客から仏教について深い質問をされたとき、もしくはこちらから踏み込んで仏教の思想について説明したいときに役立つ英語フレーズを紹介します。

### 仏教の代表的な思想

#### 「中道」： Middle Path (Way)

<解説>

「中道」は、英語では「Middle Path (Way)」と表現します。しかし、ただ「Middle Path (Way)」と説明するのでは伝わりません。サンスクリット語では「Madhyamā-pratipad」と表現し、これは「極端な考え方に偏らないこと」(Avoiding an extreme way of thinking)を意味することを説明した上で、「Middle Path (Way)」と紹介して下さい。

#### 「因縁生起」(縁起)： Dependent Co-Arising

<解説>

「因縁生起」(縁起)は、サンスクリット語では「Pratītya-samutpāda」といい、「原因に縁(よ)って結果が起きる」という意味を踏まえ、英語では「Dependent Co-Arising」と訳されます。これは、様々なことが同時に(Co)生じており(Arising)、それらすべてが依存し合って(Dependent)現象が成り立っているということを意味します。純粋に「結果には原因がある」という意味に注目し、「Dependent Origination」(起源に依存する)と表現することもできます。

#### 「空」： Emptiness

<解説>

「空」は、サンスクリット語では「Śūnyatā」といい、「固定的実体」もしくは「我」は存在しないことを意味し、この意図を汲んで「Emptiness」もしくは「Non-being」と英訳されます。考え方として、「空」は「因縁生起」(縁起)の別の表現とも言えますので、「Emptiness」 has the same meaning as “Dependent Co-Arising” (「空」は「因縁生起」と同じ意味)とも説明できます。

#### 「四法印」： Four Marks of the Dharma

<解説>

「四法印」は大乗仏教を特徴づける「諸行無常」「諸法無我」「涅槃寂靜」「一切皆苦」の四つの教えで、仏教か非仏教かを判断する真実の(Dharma)物差しとなる印(Mark)です。よって、英語では「Four Marks of the Dharma」(四つの真実の印)と表現します。「Mark」の代わりに同意の「Seal」を使うこともできます。

仏教の根幹ともいえる四つの印の教えは次の通りです。

##### ●諸行無常： Life is Impermanent

<解説>

「諸行無常」は、一般的には英語で「Life is Impermanent」(いのちは永久には続かない)と表現されます。しかし、用語の意味を抽出すると「Every phenomenon is changing」(すべての現象は移り変わる)とも表現できます。さらに解釈を発展させれば、「Everything including oneself is constantly changing」(自分自身を含めたすべての物事は移り変わる)とも表現できます。

##### ●諸法無我： Life is Interdependent

<解説>

「諸法無我」は、「諸々の法(物事)には、(永遠的で不変な本性である)我は無い」と書き下し、「物事はすべて依存し成立しており、独立して存在しているものはない」という意味を持つことから、「Life is Interdependent」(いのちは相互依存している)と表現します。

##### ●涅槃寂靜： Nirvana is Quiescence

<解説>

「涅槃寂靜」は「Nirvana is Quiescence」(涅槃は静寂である)と英訳されます。「涅槃」の英訳は、サンスクリット語の「Nirvana」をそのまま使用します。これはすでに英語としても認知されています。しかし、元来の意味は煩悩の火を「吹き消すこと」を意味し、悩みや苦しみから解放され、何にも心を掻き立てられることのない「境地」を指します。よって、「涅槃寂靜」は「The state where one is no longer affected by any delusion and is at complete peace」(如何なる迷いの幻想にも悩まされなくなった境地は平和である)とも英訳できます。

##### ●一切皆苦： All Impure Phenomena are of the Nature to Suffer

<解説>

「一切皆苦」は、英語で直訳すると「All things in this world are suffering」という表現になりますが、これでは本来の意図が簡単には伝わりません。私たちの「煩惱によって曇った目で見れば」という視点を反映し、「All impure phenomena are of the nature to suffer」(すべての不純な「目で見た」現象は苦しみの本質である)と英訳します。「苦」(不満足の心)というのは、自分自身で創り出しているということを強調することで、意味も分かりやすくなります。

#### 「四苦八苦」： Four Sufferings and Eight Sufferings

※「Suffering」は「Unsatisfactory Mind」の意味

<解説>

「仏教」の「苦」とは、パーリ語「Dukkha」の翻訳で、元来の意味は「不満足の心」です。英語では「Suffering」として表現されますが、意味は「Unsatisfactory Mind」(不満足の心)であることを念頭に置くことが重要です。その上で、「四苦」は英語で「Four Sufferings」と表現し、生(Birth)・老(Aging)・病(Sickness)・死(Death)と表現します。この「四苦」に「愛別離苦」「怨憎会苦」「求不得苦」「五蘊盛苦」の四つの苦を 加えて「八苦」(Eight Sufferings)となります。

##### ●愛別離苦： The Suffering of Departing from Persons or Situations One Loves

(愛する人や好ましい状況からいつかは離れなければならない苦しみ)

##### ●怨憎会苦： The Suffering of Meeting Up with Persons or Situations One Dislikes

(嫌で仕方のない人や状況にも出遭わなければならない苦しみ)

##### ●求不得苦： The Suffering of Not Getting What One Seeks

(欲しいものが手に入らない苦しみ)

##### ●五蘊盛苦： The Suffering of Becoming Attached to the Five Elements of Self

(自己を形成する 五つの要素に執着する苦しみ)

「五蘊」とは、人間の肉体と精神を構成する五つの要素の意味なので、英語では「Five Elements of Self」(自己を形成する五つの要素)と表現します。その五つの要素は以下の五感を指します。

「色」(Matter): すべての物質を指すが、ここでは「身体」の機能

「受」(Sensation): 物事を見る、外界からの刺激を受ける「心」の機能

「想」(Perception): 見たものについて何事かをイメージする「心」の機能

「行」(Mental formation): イメージしたものについて、何らかの意志判断を下す「心」の機能

「識」(Discernment): 外的作用(刺激とイメージ)、内的作用(意志判断)を 総合して状況判断を下す「心」の機能

意識するならば、「五蘊」は「人生の経験」(Life Experience)ともいえます。つまり、「五蘊盛苦」は自分の経験によって得た情報を絶対視することで、「不満足の心」が増大することを示唆します。よって、「The suffering of becoming attached to one's experience」とも英訳できます。

## 大來 尚順 (おおぎ しょうじゅん)

・浄土真宗本願寺派 超勝寺 住職  
・一般社団法人 寺子屋ブツダ 理事

### プロフィール

1982年、山口市生まれ。龍谷大学卒業後に渡米。カリフォルニア州パークレーの米国仏教大学院に進学し修士課程を修了。その後、同国ハーバード大学神学部研究員を経て帰国。僧侶として以外にも通訳や仏教関係の書物の翻訳なども手掛け、執筆・講演・メディアなどの活動の場を幅広く持つ。

書籍: 「超カンタン英語で仏教がよくわかる」(扶桑社)、「カンタン英語で浄土真宗入門」(法蔵館)、「訳せない日本語 日本人の言葉と心」(アルファポリス)他多数

# 宗教法人運営のための 法律入門

宗教法人の管理運営 7



## 代表役員 2

### <代表役員の職務権限①>

代表役員の職務権限は以下の2つです(宗教法人法第18条3項)。

- ① 1つは、**対外的に法人を代表すること**です。
- ② 2つには、**対内的に法人の事務を総理すること**です。

### ①代表行為

宗教法人の代表者として代表役員がなす行為は、宗教法人の行為とされ、その効果はすべて宗教法人に帰属します。これを代表行為といえます。

#### ○代表権行使の形式

代表権行使の形式については、民法の代理の規定(民法第99条)が類推適用されます。ですから代表行為をなす場合には、宗教法人のためにすること、すなわち代表役員として行うことを明らかにしなければなりません。例えば第三者との間で売買行為をしようとするときは、○○寺代表役員○○○として第三者と契約することが必要です。

#### ○代表権の範囲

代表権の範囲は、原則として宗教法人の一切の行為に及びます。宗教法人の目的を果たすために必要とされる行為は、すべて代表権が及ぶというわけです。ただそれは宗教法人に与えられている能力(宗教法人の目的)の範囲内の事項に限られます。

代表役員がその目的の範囲外の行為をした場合には、宗教法人にその行為の法的な効果は及びません。代表役員が行った行為の結果、第三者に損害が及んだ場合には、代表役員が賠償責任を負うことになります(宗教法人法第11条2項)。代表役員の代表権の範囲は、規則または責任役員の決定によって制限することはできません。

しかし代表役員は規則の定め及び責任役員(会)の決定には従わなければなりません。従って、例えば責任役員がある土地を買ってはならないと決めたら、代表役員はこれに従わなければなりません。しかし代表役員が責任役員(会)の決定に従わなかった場合にも、その売主との間の売買契約自体は原則として有効です。ただ、代表役員は法人に対して、債務不履行による責任を負うことになります。

代表役員の一定の行為について、総代会等の特定機関の同意や議決を必要とするということを定めることはできますが、特定の行為の代表権を奪って他の機関に代表させたり、他の機関と共同で代表行為を行わせることは許されません。

代表役員は、宗教法人と代表役員である個人との利益が相反する事項については代表権を持ち得ません(宗教法人法第21条1項)。

代表行為は、財産処分等で公告をしなければならない場合があります(宗教法人法第23条)。また、処分行為が無効となる場合があります(宗教法人法第24条)。その範囲で代表役員の権限は制限されているということになります。

#### ○代理

しかし、この代表権をほかの人に委任することはできます(民法第55条)。これを代理といえます。ただしこの場合でも、第三者に包括的に代理を委任することはできません。委任は個々の特定の行為に限られます。

この場合の代理人は宗教法人の任意代理人であって、法人の機関ではありません。それゆえ、代表役員がこの代理人の選任監督についての一切の責任を負うことになります。

②の<事務処理>の権限については、次回に述べることにします。

作成・監修 弁護士 長谷川正浩

## 『寒暑到来、如何が回避せん!』

衣替えの季節となりました。思い返せば、今年も大変暑い夏でした。

お盆の時節、大阪市内を棚経でお伺いしている頃は、連日35度を超える猛暑で、メディアも熱中症の注意喚起を頻繁に伝えていました。軽自動車のエアコンも効かないほどでしたが、各ご家庭にお伺いすると仏間はクーラーでキンキンに冷やしてお迎えいただき、ご先祖様もご満悦のご様子でした。

とあるご高齢の女性宅に伺った時のことです。扇風機が懸命に回ってはいませんが、その甲斐虚しく常夏状態でした。汗ビショリの私を見て「お坊さん、暑いと思われたでしょう。家には冷房がないんですわ。暑くて申し訳ない」と仰るので、「いえいえ。それよりも、おばあさんが大丈夫ですか?」と、心配になってお聞きしました。すると、この女性はこう言われたのです。「世間の人は暑いからという冷房をつける。寒いからという暖房をつける。暑いのは、夏やから当たり前、これも自然が人間を鍛えるためやのに、自分で身体を弱くしてしもてるんやで。修行しはったお坊さん、どない思わはりますか?」冷房が有難いと思っていた私は反省し、姿勢を正したのでした。

続いて訪れたのは、3年前に神経系統の手術をされて、やっと歩けるようになったご主人のお宅です。お参りの後、お身体の具合を伺うと「私は虚しい。頑張ってリハビリを続けてるけど、まだまだ身体が言うことを聞かへん。外を歩くようにしてるけど、散歩してる犬にまで抜かれる。まあ、これもしゃあないとは思うけど、やりきれんわ」と、笑顔でぼやかれました。側で聞いていた令夫人が、「和尚さん、こんな弱気な夫に何か禅の教えでも言うたって下さい」と言われ、先ほどの女性の話とともに、この問答を思い出したのです。

中国禅の高僧である洞山良价禅師に、とある修行僧が問いました。「寒さ暑さがやって来ました。どうすれば、この寒暑を避けることができますでしょうか」それに対して、洞山禅師は「なぜ、寒さ暑さのないところへ行かないのだ。寒いときは寒さに、暑いときは暑さに成り切ることだ」とお答えになりました。

この問答では気候のことだけではなく、生き死にをはじめ、日々の苦しみを寒暑で説いておられます。私たちは辛いことや苦しいことをなるべく避けようと思いますが、エアコンを効かすのではなく、常夏を楽しむ方法は別にあるように思います。辛いリハビリを続けているこの男性が言われた「しゃあない」の一言は、弱気な発言ではなく、この苦しみと向き合う自然なお言葉であると、私は勉強させていただきました。

これから寒い季節がやって来ます。こたつでテレビも良いですが、雪まつりやスキーなど、寒いからこそ楽しむことがあるはずです。生きているからこそ会おう生き死にの苦しみを始め、日々の寒暑にどっぷり浸かる生き方を、探してみたいかがでしょうか。



プロフィール 安達 瑞樹(あだち ずいじゅ) 曹洞宗 長楽寺

受賞歴: H1法話グランプリ~エピソード・ゼロ~グランプリ受賞

法話  
ぶつぽうそう  
7

「ぶつぽうそう(仏法僧)」では専門家や大人だけではなく、子どもでも分かりやすい言葉や内容を心がけて、日々の生活に役立ち活かしていける法話を紹介いたします。



全日本仏教会

検索 

<http://www.jbf.ne.jp>

発行人 戸松義晴

発行所 公益財団法人 全日本仏教会

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2階

TEL:03-3437-9275 FAX:03-3437-3260

e-mail:info@jbf.ne.jp

